



《学校教育目標》 『笑顔で 元気な 東っ子』

- ☆進んで学習
- ☆自分も友達も大切に
- ☆心と体を鍛えて何事にもチャレンジ



山東小 HP

令和7年7月17日 文責 校長 山口 浩史

山代っ子ウィークへのご協力ありがとうございました。

山代中学校区3校の共同した取り組みとして「山代っ子ウィーク」があります。これは平成17年4月1日付で山代小中学校PTAから発信された「山代っ子の約束」をもとに、児童生徒の家庭での生活の様子を家族で振り返るものです。「山代っ子の約束」は令和元年12月に一部改訂され10項目の約束となっています。昨年度も同様の取り組みを行いました。中学校校区で同じ取り組みができているのはとても素晴らしいことです。地域・家族・学校が一緒になって児童生徒を育てる風土ができている証です。今後も続けていきたいです。アンケート項目については振り返りの際にご覧になられていると思います。どれも基本的な生活習慣が身に付いているかを確認する内容です。

1学期の実施状況についてお知らせします。1学期は3回行いました。どの学年も実施率が高かったです。保護者の皆さんのご協力に感謝します。

◆「山代っ子ウィーク」の実施状況（山代っ子ウィークチャレンジカードの提出状況）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	実施率
在籍数	13	17	16	14	14	16	90	
4月第3週	13	14	16	14	12	14	83	92.2%
5月第3週	13	14	16	14	9	14	80	88.9%
6月第3週	13	16	16	14	8	14	81	90.0%
学年別実施率	100%	86.2%	100%	100%	69.0%	87.5%	90.4%	

◆保護者からの一言メッセージ（あたたかいメッセージに、読んでいて嬉しくなります）

【4月】

- ・お手伝いをよくしてくれました。が、スマホを9時でやめられていないので、次はできるようにしたいです。(2年)
- ・ゴミ出しなどお手伝いをしてくれて助かりました。(3年)
- ・あいさつを自分から積極的に言うように日ごろから伝えていますが、なかなか身につけません。意識してほしいなと思います。(4年)
- ・いつも疲れてすぐ眠ってしまうので、起きている時間を有効に使えたらいいなと思います。(6年)

【5月】

- ・お手伝いががんばってくれました。山代っ子ウィークじゃない日も早寝早起きがんばってください。(1年)
- ・今月は運動会の練習、陸上、スイミングと疲れていたのか、手伝いができていなかったです。来週はがんばってほしいです。(3年)
- ・土日に進んで夕食の手伝いをしてくれたのでうれしかった!!またよろしく!!(4年)
- ・寝る時間が遅いので、もう少し早く寝るようにしましょう。(5年)

【6月】

・早めですが夏休みのことを話し合いしていこうかと思います。ラジオ体操など朝はどうしても起こさないと起きないので“自分で起きる”が目標です。(1年)

・毎日本を読んでいました。規則正しい生活もばっちり。あれ…?ゲームの時間がオーバーしていた日があったような。(2年)

・最近朝も夜もごはんをよく食べるようになりました。インターネットは時間を守りましょう。(5年)

・野球や陸上、ドッジビーの練習で帰りが遅くなってもお手伝い頑張ってくれた。(6年)

◆考察（今後の取り組みについて）

手伝いを頑張っている児童が多かったです。その一方で、テレビ・スマホ・ゲーム・インターネットの時間を守れていない児童も多かったです。実施率の高さやコメント欄の記入内容から、取組に対する保護者皆さんの意識は高いと思います。山代っ子ウィークに取り組む価値は十分あると考えます。今後も学校と家庭、地域が連携し、笑顔で元気な東っ子を育てていきたいと考えます。2学期の山代っ子ウィークにもご協力お願いします。

18日(金)は終業式。ルールを守り、自分も周りの人も笑顔で過ごす夏休みにしましょう。

14日(月)にミニゲーム集会(新聞紙じゃんけん)を開きました。1・6年生、2・5年生、3・4年生の3グループに分かれての実施です。ルールは簡単。2人組になり各自1枚の新聞紙の上にのります。



そして、じゃんけん。負けた人は新聞紙を半分に折ります。後はその繰り返し。新聞紙にのれなくなったら負け。

どのグループも歓声を上げながらゲームに夢中になり、わくわくする時間と空間を共有することができました。みんながわくわくできたのには2つの理由があります。1つめはみんながルールを守ったこと、2つめは勝ち負けにこだわらなかったことです。ルールを守ることができる

子どもたちに育っていることを嬉しく思います。

ルールを守るのは相手にいやな思いをさせないためだけではなく、自分も楽しくなるためです。そして、自分と相手の身を守るためです。

ルールを破る大人の話が大量に報道されています。それは人の命に関わるものから日常の出来事まで多種多様です。例えば、横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいたら車両は停止しなければいけません(道路交通法違反)。体が不自由な人専用の駐車スペースにそうではない人がとめることもルール違反です。以前は、車の中から道路や駐車場にゴミを入れたビニール袋やたばこの吸い殻を捨てる大人の姿をよく見かけたものです。もし、その車内に子どもが同乗していたらと思うとぞっとします。自分の親がルールを破る様子を見ることで子どもたちには、ルールは守らなくてもいいものなんだ、自分の都合で変えていいものなんだという感覚が刷り込まれていくと私は考えます。その感覚をもったままでは集団行動が必要な場面でトラブルに巻き込まれるのではないかと危惧します。そして、やがて大人になり子どもを育てる立場になったときに同じようなことを繰り返すのではないかと、それも心配です。我々大人の責任が重大です。教職員の不祥事も多発しています。山代東小学校の職員一人一人が自分事として、日々、自律した生活を送るように確認をしました。

ルールを破ると何となく気分が悪いなあ、そう思える人になってほしい、切実な願いです。

夏休みは特に、子どもたちの周りに誘惑がいっぱいあります。ルールを守り最後までわくわくする日々を過ごしてほしいです。